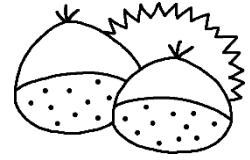




がっこう
学校だより
がっこう
10月号



令和4年9月30日
よこはましりつみつざわしょうがっこう
横浜市立三ツ沢小学校

みづきごのかがやき

ふくこうちょう おかだ まちこ
副校長 岡田 真知子

先日、地域の方々が環境整備を続けておられるみずき緑地の清掃活動に、4年1組の子どもたちも一緒に参加させていただき活動することができました。上町町内会の方々から作業の方法を教えてください、グループで協力しながら剪定した木々の枝や葉などを集めたり袋に入れたりして、みずき緑地の清掃活動を体験することができました。清掃の作業を終えた後、子どもたちの質問や感想を伝える時間をとっていただきました。「なぜ、清掃の作業をしておられるのか。」「どんな気持ちで活動されておられるのか。」「枝を切ったり集めたりする作業は大変だと思った。」「木々や葉を袋に入れたり運んだりするのは大変だったけれど、きれいになったのを見たとき気持ちがすっきりした。」など、活動を通して感じたことがたくさんありました。地域の方々の思いや考えをお聞きすることで、子どもたちの気づきや視野も広がりました。

4年4組の子どもたちは、まち探検であった東町で活動されている「いーすと茶房」の見学を行わせていただきました。「どんな活動をされているのか。」「はじめたきっかけやどんな場所なのか。」「何人くらい利用されているのか。」など、利用されている東町町内会の方々やスタッフの方から直接お話を伺う機会をいただきました。地域の中での人と人のつながりについて考えを広げる機会になりました。体験後には、「いーすと茶房」を大事にしている方々の思いを感じ、「自分たちができることがないかな。手伝いたいな。」という活動の振り返りがありました。

本校では、総合的な学習の時間での学習活動を『かがやきの時間』と位置付けて、校内で見つけた身近な発見や疑問、地域の方々やもの・ことから直接学んだり繰り返しかかわったりしながら体験的に学んでいます。午前中の休み時間を『発見タイム』と位置付けて、子どもたちが思い思いに過ごしています。学校内外での活動から発見した人・もの・ことから疑問や問題を見つけて「なんだろう。」「聞いてみたい。」「調べてみたい。」「作ってみたい。」「やってみたい。」という子どもたちの気付きや思いを大切にしている姿が各学級の学習活動で見られます。

地域と子どもたちの活動をつないでいただいている学校・地域コーディネーターや各町内会の皆様、活動ボランティアの皆様、保護者の皆様などたくさんの方々にご支援いただきながら、子どもたちが自他の気づきや思いを伝え合いながら学び続けることができていると感じました。

9月半ばに入り、体育館や校庭で運動会に向けた演技や競技の練習が始まりました。今年度も分散開催になりますが、10月20日（木）、10月21日（金）に『三ツ沢っ子かがやき運動会～個性で戦え笑顔かがやけ 情熱フェスティバル！～』を予定しています。感染防止を継続する中での運動会練習ですが、子どもたち一人ひとりが主役となる運動会を目指して、活動を進めているところです。たくさんの方々の励ましやご支援をいただきながら、三ツ沢っ子のかがやきを見つけて、保護者の皆様、地域の皆様とともに子どもたちの成長を喜んでいきたいと思っております。